

本当の美しさを考える

ナイスミディ
セミナー

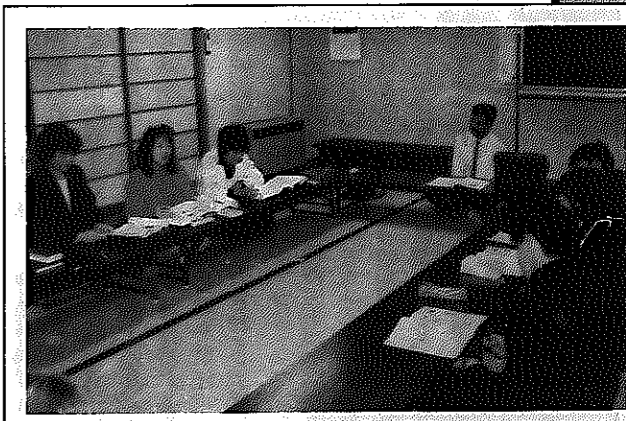
ナイスミディセミナーが十月二十一日から三回にわたり、カルチャーセンターで開かれました。この催しは中央公民館の依頼で、五人の女性が企画。女性としての生き方や考え方を学び、本当の美しさを考えようと、二十四人の婦人が受講しました。十月二十八日は、新潟三越ファッション担当の高橋和子さんを講師に迎え、個性を生かしたおしゃれについて学習。ある婦人は「今回一番楽しみにしていた企画」と話します。ティータイムを設けたり各テーブルに花が飾られていたり、女性の心配りが感じられるセミナーでした。



生の英語で国際交流

庄瀬公民館
英会話教室

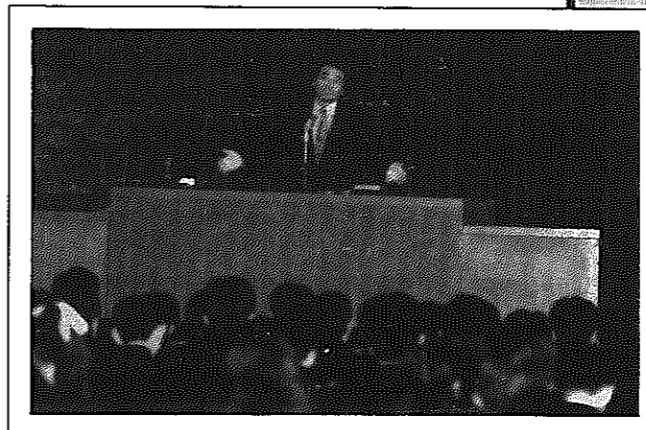
庄瀬地区公民館では、生の英語に触れてもらおうと英会話教室を開催しました。講師はバングラデシュから新潟大学歯学部留学中のモハメド・ゼラルさん。十月二十日から二十八日まで四回にわたり、高校生や主婦など八人が受講しました。最終日の講義の後は、持ち寄った果物やお菓子でささやかなパーティー。翌日がゼラルさんの誕生日とあって、話も弾みます。参加者からは「ぜひ来年もやってほしい」と大好評。「文章で見ると簡単な英語でも、会話をするとということになると、慣れが必要」と話していました。



体操の塚原氏が講演

白根高校
30周年

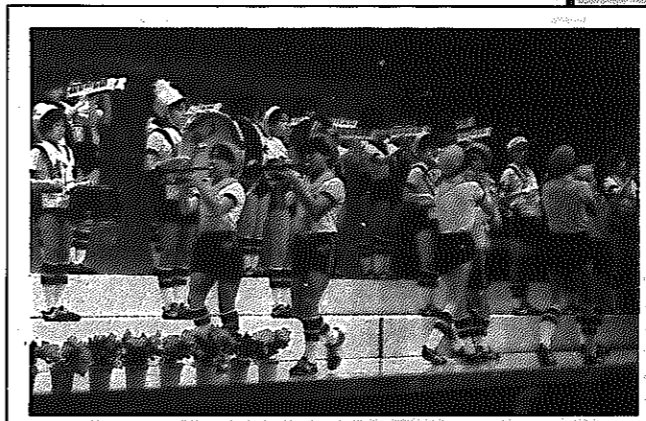
白根高校創立三十周年を記念した講演会が、十一月一日、同校体育館で体操の塚原光男氏を講師に迎えて行われました。塚原氏は月面宙返りの創始者として有名。オリンピック三大大会に出場し、五つの金メダルを獲得しています。講演では、月面宙返り誕生や男子体操団体のオリンピック五連覇の秘話を紹介。「目標が高ければ高いほど問題も多い。それを乗り越える勇氣と決断が必要」と訴えました。塚原氏はモンテリオール大会の金メダルを用意。手に取った生徒たちはメダルの大きさに驚いていました。



全員で市民歌を合唱

小中学校
合同音楽祭

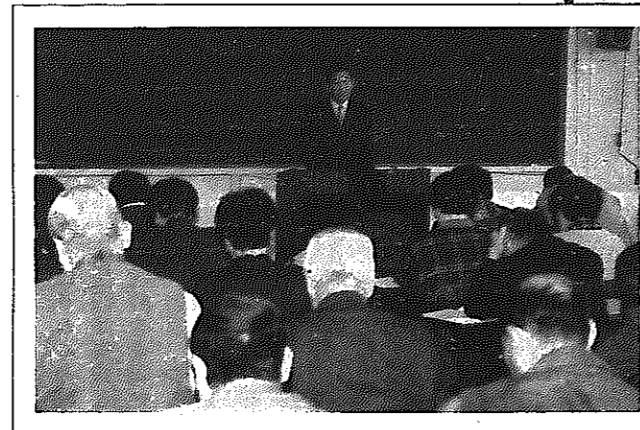
十一月十八日、小中学校合同音楽祭がカルチャーセンターで行われました。音楽教育の発表の場として毎年行われているこの音楽祭は、今年で四十五回目。榎本正一氏を迎えてフルート鑑賞教室も開催されました。参加者全員による全員合唱では、今回から市民歌が歌われることになりました。歌われる機会の少なかった市民歌に、まず子供たちから親しんでもらおうというものです。午前中に行われた小学校の部には五百六十八人の児童が参加。子供たちのさわやかな歌声に、訪れた父母らは惜しみない拍手を送っていました。



万葉の世界を満喫

文芸セ
ミナー

市立図書館では十一月十四日、青年教育センターで文芸セミナー「万葉の魅力」を開催。講師の伊丹末雄さんは、真木新田出身の万葉集研究家。セミナーでは、同氏の万葉集との出会いや、成立の研究、代表的な十五の歌について解説しました。同氏の万葉集研究のきっかけは、学生時代に斎藤茂吉の「万葉集歌」に出合ったことから。大伴家持を中心に万葉集が編まされたという同氏の説は、現在ほとんどの教科書で採用されています。セミナーに参加した六十五人の市民は、ひとときの万葉の世界を満喫した様子でした。



交通安全の強化を誓う

母の会
25周年

交通安全母の会の発足二十五周年を記念する、交通安全フェアが十月三十日、市役所で開催されました。高橋末江会長はあいさつで「交通安全情はさらに深刻になっている。母親として交通弱者の児童やお年寄りのため、今後も活動を強化していく」と、誓いを新たにしました。この日は、国道8号白根小前で交通安全指導所を開設。ドライバーに交通安全を呼び掛けたほか、高齢者安全指導会、交通安全キヤラバンを実施。同キヤラバンは、保育園や小学校、事業所などを訪れ、市長と警察署長のメッセージを手渡しました。



元気に、仲良く、賢く

小林小
10周年

小林小学校の創立十周年記念式典が十一月七日、同小学校で行われ、教育関係者や地元代表など約百人が出席。三百二十二人の在校児童とともに十周年を祝いました。同小学校は昭和五十八年に旧小林小学校と旧戸頭小学校が合併。児童数二百六人でスタートしました。式典では栗林校長が「たくましく伸びるといふ目標を常に胸に刻み、新しいスタートを切ろう」と子供たちに呼び掛けを。児童全員が「元気に、仲良く、賢く頑張ります」と喜びの言葉を述べ、十周年を節目にした新しいスタートを切りました。



壁面で特産品をPR

ガスホ
ルダ

北田中に設置されているガスホルダーに、本市の特産品も色鮮やかな壁画がお目見え。南側壁面いっぱいカラーペンキで桃、ナシ、ブドウ、稲穂が描かれています。壁画は国道8号からもよく見えるほどジャンボ。市のPRに一役買っています。これは、今年がガスホルダーの定期検査の年に当たり、壁面を塗り直すこともあって、ガスホルダーのイメージアップと併せて特産品PRの一石二鳥を狙ったもの。費用は約二百五十万円。白根市農協も一部負担しています。ガス水道局では残る二基にも同様の処置をする方針です。

